

2024年11月19日 シンポジウム

「コーデックス委員会を理解する-食品衛生基準行政の移管を機に」

---

---

パネルディスカッション

## コーデックス委員会を理解する

(コーデックス連絡協議会の一消費者委員から見た現状と課題)

---

---

一社) Food Communication Compass 代表  
森田 満樹

# 消費者がコーデックス委員会の活動を知るために コーデックス連絡協議会が年に数回開催されています

農林水産省 [English](#) [このホームページ](#) [サイトマップ](#) [文字サイズ](#) [標準](#) [大きく](#)

[逆引き事典から探す](#) [組織別から探す](#) [キーワードから探す](#)  [検索](#)

[会見・報道・広報](#)
[政策情報](#)
[統計情報](#)
[申請・お問い合わせ](#)
[農林水産省について](#)

[ホーム](#) > [消費・安全](#) > [コーデックス委員会](#)

## コーデックス委員会

コーデックス委員会は、消費者の健康の保護、食品の公正な貿易の確保等を目的として、1963年にFAO及びWHOにより設置された国際的な政府間機関であり、国際食品規格の策定等を行っています。我が国は1966年より加盟しています。コーデックス委員会における議論の概要は、[コーデックス連絡協議会資料](#)をご覧ください。

- コーデックス委員会概要
- コーデックス食品規格策定ステップ
- コーデックス会議日程表 (令和6年1月9日更新) |
- コーデックス主要議題 (令和6年2月13日更新)
- コーデックス規格について(PDF: 323KB) (令和5年3月1日更新)

## コーデックス食品規格及び関連文書

- コーデックス食品規格リスト (コーデックス事務局ホームページ) [【外部リンク】](#)
- 日本語版コーデックス規格 (令和4年10月19日更新)
- 食品の安全性に関するリスクアナリシス用語 (PDF: 115KB)
- コーデックス関連出版物(手続きマニュアル28版、Understanding the Codex Alimentarius等) (英文) [【外部リンク】](#)

## コーデックス連絡協議会

コーデックス委員会の活動及びコーデックス委員会での我が国の活動状況を、関係者を代表する委員に対して情報提供するとともに、コーデックス委員会における検討議題に関する意見交換を行うため、平成12年3月より開催しています。年4~6回開催しており、一般の方の傍聴も受け付けています。

- コーデックス連絡協議会の設置について(PDF: 182KB) (令和6年4月1日改正)
- コーデックス連絡協議会委員名簿(PDF: 130KB) (令和6年9月12日更新)
- コーデックス連絡協議会開催状況 (令和6年11月5日更新)

## 世界食品安全の日 (6月7日)

2018年12月20日、国際連合は、「持続可能な開発目標」(SDGs)の達成のために、毎年6月7日を「世界食品安全の日(World Food Safety Day)」と決めました。これを受け、コーデックス委員会においても、食品安全の普及啓発等のため、毎年6月7日を「世界食品安全の日」として祝う活動が行われています。

- 世界食品安全の日について (令和6年5月22日更新) [New](#)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/>

## コーデックス委員会の概要

国際的な位置づけ、組織構成、ステップ、スケジュールなどが解説されています。

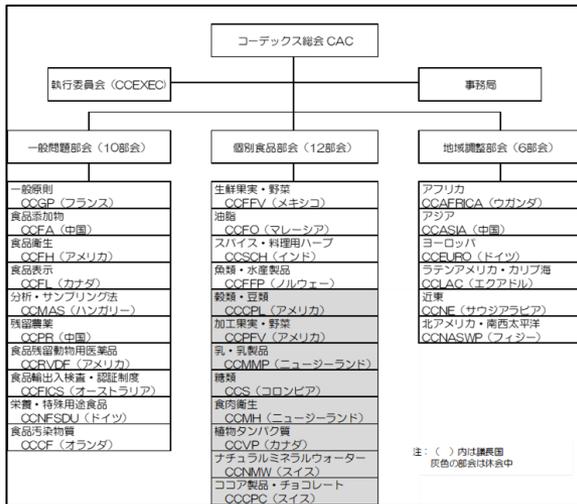
## コーデックス食品規格など

Reference	Title	Committee	Last modified	EN	FR	ES	AR	ZH	RU
CXA-21916	Statement on infant feeding	CXC/DSU	1976						
CXA-21981	Classification of Foods and Animal Feeds	CCPR	1993						
CXA-21985	Classification of Terms and Definitions (Resolutions of Veterinary Drugs in Hand)	CCPR	2005						
CXA-20228	List of codes specifications for food additives	CCPR	2022						
CXC-11968	General Principles of Food Hygiene	CCPR	2022						
CXC-21968	Code of Hygiene Practice for Carved Fruit and Vegetable Products	CCPRV	2011						
CXC-31968	Code of Hygiene Practice for Dried Fruits	CCPRV	2011						
CXC-41971	Code of Hygiene Practice for Desiccated Coconut	CCPRV	1971						
CXC-41971	Code of Hygiene Practice for Dehydrated Fruits and vegetables including edible fungi	CCPRV	1971						
CXC-41972	Code of Hygiene Practice for Tree Nuts	CCPRV	1972						

300を超える食品規格リストが掲載

## コーデックス連絡協議会の案内

部会、総会の進捗状況を国の担当者が紹介し、関係者が意見交換をします。2000年に設置され、直近は第114回(11月7日)を開催。



## コーデックス連絡協議会

- 直近に開催された複数の部会等の報告と、今後開催される予定の部会の議題を各省庁の担当官が解説する。
- 協議会は、消費者関係者、産業界関係者、学識関係者から構成されている。必要に応じて臨時委員が参加することもある。
- 議事は全て公開されており、議事概要は発言した委員の名前が入った形で公開されている。
- 関心のある方は、ぜひ傍聴してください。

消費者庁ウェブサイトより

## 協議会に参加して（私見）

- 消費者の関心の高い部会（食品添加物、残留農薬、動物用医薬品、食品汚染物質）では、科学に基づいたリスク評価機関の結果を踏まえて「消費者の健康保護」を確保するための検討が長年積み重ねられ、私たち「食の安全」「消費者の健康保護」につながっている。
- 議題によって各国間の意見の隔たりが大きく、結論が出ずに投票となるケースもある。
- 最近では、WHOの関心事項なども踏まえて環境問題、ワンヘルスアプローチ、フードテック等、議論が拡大され、より複雑になり議論が硬直する場面が増えている。
- 部会によってはコーデックス委員会の目的から離れ、学術的に偏る感を受けることもある。
- 部会の新規作業の提案によっては、特定の国の思惑が強くなり出ることがあり不公平感がある。
- 新興課題の対応では、複数の部会で同時期に取り上げることもあり、担当がわかりにくい。
- ステップが進んだ段階で分析部会などの他部会の段階を踏むと進まなくなるなど、各部会の連携が悪いと感じることがある。
- 日本は上記の部会では、積極的に発言して各国をリードする場面も多く、今後も期待したい。

